# 令和2年度 苫小牧市若者人材育成事業 研修報告書

1. 事業の概要

 $1 p \sim 2 p$ 

2. 研修日程

 $2 p \sim 3 p$ 

3. 研修生取得資格一覧·就職状況

4 p

4. 施設内研修報告

 $5 p \sim 1 0 p$ 

5. 企業研修報告

 $1.1 p \sim 1.6 p$ 

6. 事業評価

17 p  $\sim$  19 p

7. 協会(受託先)の今次事業に対する所感 20p

一般社団法人 苫小牧地域職業訓練センター運営協会

# 1.事業の概要

# 事業の目的

苫小牧市における建設業における人手不足等の課題を踏まえ、将来を支える若年者の入職促進、人材育成を行うとともに、継続雇用を図ることを目的に実施する。

この事業は、企業、団体等の連携体に対し、若年入職者の育成のための OJT の実施のほか、スキルアップのための OFF-JT を含めた研修カリキュラム及び技能向上のための各種資格の取得支援を委託することで、将来にわたり希望や誇りの持てる建設業の活性化を図る。

# 研修生採用の状況

令和2年度事業では、19歳から47歳までの7名を研修生として採用しました。

事業開始は6月1日からの予定でしたが、当初の募集締切日時点では応募者が3名しかおらず、内2名を採用。研修開始日を7月1日に変更し追加募集した結果、6月締切日時点で追加応募者が7名あり内5名を採用しました。

募集期間	応募者人数	採用人数
$4/1 \sim 5/20$	3	2
$5/26 \sim 6/22$	8	5

研修生募集説明会を計7回実施し、計16名の方々に参加していただきました。 下記の表は、研修生募集の告知手段と何を見て説明会に参加したかを記載しております。

研修生募集の告知手段	人数(複数回答あり)
ホームページ	3
新聞広告	4
折り込みチラシ	2
ツイッター	2
フェイスブック	1
ハローワーク	5
ポスター	1
知 人	2
その他	1

# 研修生7名の職歴

	年齢	性別	職
A	4 6	男	電気保安業、コンビニ勤務
В	2 1	男	ガソリンスタンド勤務、非鉄選別・フォークリフト作業員
C	4 5	女	接客業、荷受け・配送業
D	3 5	男	小型部品の設計、弁当製造販売
E	4 7	男	医院勤務、遊技場接客、溶接業、鍛冶・鳶業
F	4 0	男	機械搬入設置、造園業、ケーブル配線工事
G	1 9	男	職歴なし

※年齢は令和2年6月22日時点

# 2. 研修日程

7月・8月・9月

座学、施設内実習、資格取得講習、就職支援

10月

職場見学期間、座学、就職支援、資格取得講習

11月・12月

業務研修・職場見学期間、就職支援、資格取得講習(12月)

1月

研修生就職活動期間

### 令和2年度 苫小牧市若者人材育成事業

_							<b>行</b>	<u>小</u>	12	2年	F	<u>戈</u>		白	/]	<u>`1</u>	<u>X</u>	<u>Ц</u> 1	1	11	∃ ,	<u> </u>	<u>杪</u>	ļ,	)	<b>√</b> ∃	<b>→</b> ラ	<u> </u>					
	且	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			23 2			27	28	29	-	31	日数	時数
	曜	水	木	金	土	Ħ	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	目	月			木 3	主土	Ħ	月	火	水		金		
	時	7	7	7			7	7	7	7	7			7	7	7	7	7			7	7	7	_	_		7	7	7	7	7		
7	午	推	就	就			建	建	安	就	就			就	安		内					器 工		,	ξ		電	Ē		大			
月	<u></u>	*	職	職			設	設	全	職	職			職	全		装					具		海口	R		复	=		エ			
	前	L					業	業														手 道		စ္က 🕽	,								
	午		基	基			概	概	教	基	基			基	教		実					具		日日			3	€		実			
	後		礎	礎			論	論	育	礎	礎			礎	育		習					実		E	<b>∄</b>		캩	N H		習			
$\vdash$		,	_	_	_	-		-	_	_	10		10	10	1.4	15	10	1.17	10	10	00	<u> </u>	00 .	00 0	4 05	0.0	0.07	00	00	00	0.1	21	147
	日	<u>±</u>	2	3	4	5 水	6	7	8 ±	9	10	11	12 水	13	14	15 ±	16	17	18	19					4 25 引火	26 水	27	28	29 ±		31	日数	時数
8	曜	<u>T</u>	Ħ	<u>月</u> 8	<u>火</u> 8	8	水 8	<u>金</u>	<u> </u>	日	月	<u>火</u> 8	8	小	金	<u> </u>	日	月 8	火 8	水 8	水 8	金 8			3 8	8	水 8	金 8	<u>T</u>	Ħ	<u>月</u> 8		
l°	<u>時</u> 午											自				セ		フ	_	7		Ť	+										
	_				ア、		溶	溶			١.	由	丸			レン		· オ		4					板	一百	5	刈			左		
月	前				1		接	接			山の	研	の			芽		ì		1					金	1	Ť	払			官		
["	午				ク		実	実			日	削	۲			休		ク							実	9	E	機			実		
					溶							砥	取			館		練		7								取					
	後				接		習	習				石	扱			Ħ		習		ĺ					習	Ê	2	扱			習	18	144
	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22 :	23 2	4 25	26	27	28	29	30		日数	時数
	矅	火	水	木	金	土	目	月	火	水	木	金	土	田	月	火	水	木	金	±	日				金	土	日	月	火	水			
9	時	8	8	8	8	L		8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			T			3 8	L	L	8	8	8			
	午	左	足	足	۶۲			<b>ر</b>		塗		低			С	С	就	就	フ				T						小型				
		Æ.	Æ	場	ソ			ソ		100		TAEN			Α	A	17/6	476	ル			皶	秋	3	₹.				移				
月	前	官	場	組	コ			⊐		装		圧					職	職	25				分		ı r				動				
	午	実	組	立	ン			ン		実		電			D	D	支	支	ì			の	တ 📗	Ħ	-r				式り				
				実	講			講							講	講			ネ			Ħ	Ħ	γ	<del>)</del>				V				
	後	習	立	習	習			習		習		気			習	習	接	援	ス					·					5			20	160
г	Ħ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22 :	23 2	4 25	26	27	28	29	30	31	日数	時数
	曜	未	金	土	Ħ	月	火	水	未	金	土	Ħ	月	火	水	未	金	土	Ħ	月	火				E H	月	火	水	未	金	土		32/
10		8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	$\overline{}$		8	1	8	8	8	8	8			
	午	4.5	40																							410	_	_	高	Ŧ.			
		就	就																							就	F	F					
月	前	職	職																							職	Р	Р	所				
`	午	支	支										<u>π±ι</u> -	+8 E	╛╩		1月月									支	講	講	m	•			
		*											- 地以-	ر ووسا	七子	- 丹): [	] B] 									~	OFF)	OFF)	業	É			
	後	援	援																					-		援	座	座	車	<u>.</u>		22	176
	日日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22 :	23 2	4 25	26	27	28	29	30		日数	時数
	曜	Ħ	月	火	水	木	金	土	Ħ	月	火	水	木	金	±.	日	月	火	水	木	金				・ 水	木	金	土	Ħ	月		<u> </u>	~3.8/
11	時		8		8	8	8	_		8	8	8	8	8	_		8	8	8	8	8				3 8	8	8			8			
	午		4.0																											4.0			
			就																					勤						就			
I⊨	前		職	文化																				労						職			
[′	午		_ <u>+</u> .	o o																				謝									
			支	Ħ									業:	務石	开修	§期	間							စ္						支			
			援																					Ħ			-			援			
$\vdash$	後	$\vdash$	_	_		-	_	-	_	_	10	,,	10	10	1.0	1.5	10	1.77	10	10	20	-	-	20 2	4 05	0.0	05	00		20		<u>19</u>	
	日	1	2	3	4	5 ±	6	7	8	9	10	11	12 ±	13		15	16	17	18	19 ±					4 25	-	27	28		-		日数	時数
12	曜	火	水 8	木 8	金 8	工	Ħ	<u>月</u> 8	<u>火</u> 8	水 8	水 8	金 8	工	Ħ	月 8	<u>火</u> 8	水 8	木 8	金 8	<u>T</u>	Ħ				大 <u>金</u> 3 8	+	Ħ	<u>月</u> 8		1	木		
1	午	H	Ť	۳				Ť	Ť	Ť	Ť	Ť			Ť	۲	Ť	۳	Ť			-+		- 1	小			Ť	$\vdash$				
																						就	就	就	型			就					
																						職	職 ]	職	車両			職					
月	前午																								系								
	—									· 務ख	开心	医甘B					1					支	支  :	支	建 設			支					
						L			<i>&gt;</i> ₹	1カ1 L	97 TE	⊘†∜. L	 									援	援:	援	機			援					
$\vdash$	後																					_	_		tot						Щ	20	
	目	1	2	3	4	5	6	7	8	9				13			16			19				- 1	4 25		27	28		30		日数	時数
	曜	金	土	Ħ	月	火	水	木	金	土	Ħ	月	火	水	木	金	土	Ħ	月	火	水			<u>± 1</u>	1月	火	水	木	金	土	Ħ		
1	時	Ш			4	4	4	4	4			_	4	4	4	4			4	4	4	4	4	_	4	4	4	4	4		Щ		
	午																												研				
	'			ı		l	l					成							_	ls Tree!s		- '									1		
								l	l	ı	l																						
月	前											天						,			支担		,						修				
月												人の						栫				麦 実習	1						終				
月	前											天						村					i 						終				
月	前											人の						杉					7					-				19	76

施設内実習

資格取得講習

# 3. 研修生取得資格·就職状況一覧

# 〇研修生取得資格一覧 計12種類

- ・ 玉掛け技能講習
- ・小型移動式クレーン運転技能講習
- ・フォークリフト運転技能講習
- 高所作業車運転技能講習
- ・フルハーネス型安全帯特別教育
- ・自由研削といしの取り替え等の業務に係る特別教育
- 低圧電気取扱特別教育
- ・ 足場の組立て等特別教育
- ・アーク溶接特別教育
- 小型車両系建設機械運転特別教育
- 丸のこ等取り扱い作業従事者安全教育
- 刈払機取扱作業者安全衛生教育

# 〇研修生就職状況

- •建設関連企業就職者 6名
  - 内 装 業 1名 電気工事業 5名
- 建設関連以外企業就職者 1名自動車外装修理業 1名





# 4. 施設内研修報告

### 〇就職基礎研修

研修内容 他己紹介・ビジネスマナー・一般教養等





# 〇建設業概論

研修内容 建設業の現状と将来・鉄筋工事とコンクリート工事 他国建設現場の足場・建設工事の基礎知識等



### 〇安全教育

研修内容 安全衛生・救急救命処置・危険予知訓練等





# 〇内装実習

研修内容 内装工事における基礎行程(壁紙、タイルの貼替等)









# 〇器工具手道具実習

研修内容 建築大工で使用する各種工具の使い方・手入れ等







# 〇電気実習

研修内容 電気工事に必要な知識の習得・第2種電気工事士実技試験の演習









# 〇大工実習

研修内容 各種工具の使用・木材の寸法計測・墨付け・穴開け・切断 建築基準法 (座学)・手板製作等







# 〇板金実習

研修内容 板金工の仕事と工具の取扱・実習









# 〇配管実習

研修内容 配管工事の基礎作業・技能検定建築配管2級課題の作製









# 〇左官実習

研修内容 左官業の基本(材料の作製と実技)









# ○塗装実習

研修内容 塗装業の基本 (足場組立・調色・実技)









# 〇足場組立て実習

研修内容 足場の組立て解体





#### 〇パソコン・Jw-cad 講習

研修内容 パソコンの基本操作・cad の基本操作





# 〇就職支援

研修内容 新ジョブカードの作成・応募書類の作成方法



# 〇ファイナンシャル・プランニング講座

研修内容 社会保険・年金制度・税金等





# 5. 企業研修報告

### ①職場見学(令和2年10月5日~10月23日)

職場見学では、研修生が各建設関連企業に訪問し業務内容を見学・体験します。研修先は本人の希望業種に基づき、期間は1企業あたり1~3日間です。

# 受入企業数 計16社

企 業 名	業	種	希望者数	受入日数	延べ受入人数
株式会社サトウ工業	板	金	5	8	1 3
北海道アルミ建材工業株式会社	建	具	3	4	6
寺石商事株式会社	塗	装	6	4	1 2
有限会社石田塗工	塗	浒	3	3	5
株式会社ニシムラ塗装	塗	装	2	2	4
株式会社厚信電機	電気	工事	4	2	4
有限会社内城電気工事	電気	工事	5	5	8
株式会社エコテック苫小牧支店	電気	工事	4	3	4
不二工業株式会社北海道支店	電気	工事	5	3	5
富樫電気工事株式会社苫小牧支店	電気	工事	3	1	3
野田電気設備株式会社	電気	工事	4	4	8
株式会社福森工務店	配	管	4	2	4
株式会社三共水道設備	配	管	5	2	5
朝陽工業株式会社	配	管	4	3	4
株式会社千葉左官	左	官	7	3	7
丸二サッシ工業株式会社	サッ	シ	6	7	7

# 体験研修内容

※研修生が記入した研修日報より記載

#### 板金工事企業

- ・鉄板折り ・溶接作業 ・鉄板養生 ・鉄板穴あけ
- ・アンカーのネジ穴あけ、型取り





#### 建具工事企業

・アルミ材の裁断、穴あけ ・部材にテープの貼り付け





#### 塗装工事企業

- ・刷毛、ローラーを使用して外壁塗装・刷毛、ローラーを使用して部材塗装
- ・製品の水滴拭き ・製品のやすりがけ
- ・ガンを使用して吹き付け ・養生練習







#### 電気工事企業

・建柱作業・電柱の昇柱体験・配線の切断、圧着







#### 配管工事企業

・穴掘り ・水道管交換 工事 ・水道メーターの取り付け作業補助







#### 左官工事企業

・コンクリート打設 ・土のう運搬 ・プライマー塗り





#### サッシ工事企業

- ・サッシ取り付け ・ウッドデッキバルコニー作製 ・フェンス作製
- ・溶接作業補助 ・ドア枠組立て





## ②業務研修(令和2年11月4日~12月18日)

業務研修では、職場見学で訪問した企業の中で、研修生自身が就職を希望する(検討する)企業で再度研修します。期間は1企業あたり $1\sim2$ ヵ月です。

#### 受け入れ企業数 計9社

企 業 名	業種	希望者数	受入日数	延べ受入人数
株式会社サトウ工業	板 金	2	2 5	3 5
北海道アルミ建材工業株式会社	建具	1	4	4
有限会社石田塗工	塗 装	1	1 7	1 7
株式会社厚信電機	電気工事	1	7	7
有限会社内城電気工事	電気工事	3	1 3	3 1
野田電気設備株式会社	電気工事	2	8	1 2
有限会社アイ・デザイン	内 装	1	1 0	1 0
三浦造園株式会社 ※職場見学のみ	造園	3	3	9
有限会社藤澤鉄工所 ※職場見学のみ	鉄 工	1	2	2

# 体験研修内容

※研修生が記入した研修日報より記載

#### 板金工事企業

- ・溶接作業 ・鉄板曲げ ・アングルのカット、穴あけ
- ・階段の改修工事 ・ハゼテープ貼り ・グラインダーで研磨作業
- ・ 錆止め塗り ・ 屋根トタン取り付け ・ アンカー製作、取り付け





#### 建具工事企業

- ・ビス、ネジの計量 ・部材の組付け ・製品発送準備
- ・部材の穴あけ、切断



#### 途装工事企業

·養生作業 ·材料調合 ·外壁塗装

#### 電気工事企業

- ・照明器具の取り付け ・室内電気設備の導通確認 ・電柱撤去
- ・室内スイッチの名前取り付け ・屋外電気メーターの取り付け
- ・建柱作業 ・キュービクルの設置 ・アンテナの延長線取り付け
- ・外灯のメンテナンス ・監視カメラのアンテナ移設
- ・土や瓦礫の質量確認 ・照明の修理







#### 内装工事企業

・クロス貼替 ・パテ塗り ・クロスのり付け





#### 造園工事企業

・庭、公園の剪定 ・公園で植樹作業 ・植木の冬支度縄縛り



#### 鉄工工事企業

・溶接作業 ・サンダー掛け ・キャタピラはずれ防止装置の取り付け





# 6. 事業評価

## 1. 企業、施設内実習講師の研修生に対する評価

- ・研修生が作業を積極的に手伝ってくれたので、印象が良かった。
- ・手際が良く、作業スピードも速い。社会を経験してきているだけはあると感じた。
- ・指導をしつかり聞いて、作業に取り組んでくれていた。本当に良い研修生が集まってき たと感じた。
- ・指導したルールを守り真面目に研修に取り組んでいる研修生もいたが、指導した以外の 方法で作業に取り組んでいる研修生もいた。
- ・研修生の挨拶や礼儀は良かったが、自分から積極的に動くという意識が低かった。もっと自分から物事を聞いたりした方が良い。
- ・40代の方に研修に来てもらったが、本人の技術が足りないと思い会社として正社員雇用は考えられなかった。40代であれば即戦力な人材を求める。会社としては若い年代の方を育てていきたいという思いがあるので、10代20代の方に研修に来てもらうことを期待している。
- ・研修中の態度や姿勢を見て良いとは思えなかった。指導していても話は聞かないし、指 示した以外の方法やルールで作業を行っていた。

# 2. 研修生の評価

### (1)施設内研修

#### 研修全体について

- ・建設関連に必要な数多くの資格を取得できたのは良かった。
- 研修生が建設業未経験だったので、企業の実際の現場を見てから座学を受けた方が身に入るのではないかと感じた。
- ・研修生によりパソコン操作の能力と経験の差があるので、パソコン操作の習熟度により クラスを分けて研修を行ってほしい。

#### 職種別講習について

- ・塗装実習の内容や時期は見直しが必要だと思う。足場組立・解体に各日半日以上費やして塗装する時間がほとんどなかった。また、実習前にフルハーネス型安全帯の資格を取っていれば足場を組んだ時に安全帯をつけて実習をすることができるので、企業に就職した時にも応用できると思う。
- ・配管実習は事前に説明がなく試験課題を作製しただけだったので、作業工程の意味を理解できなかった。また、作業するにあたり、講師が2名ついてくれていたが、指導方法が2名とも違いどちらの話を聞けば良いかわからなくなった。

#### (2)企業研修

#### 研修全体について

・どの企業も熱心に指導していただいた印象はある。

#### 安全対策について

- ・研修生としての立場で行ったので、あまり危険な作業ができないということもあり、入 社してからでないと現状がわからないこともあった。
- ・訓練センターで安全教育について学んだが、企業によっては明らかに安全ではない状況 があったので、明確な安全の基準について疑問に思う事があった。

#### 研修生への対応について

- ・業種・業界によっては、仕事に興味をもってもらえるように細かく説明をしていただい た。
- ・企業によっては研修生担当と現場の方に受け入れに対する温度差があり、現場の方の中には何か聞いても教えてくれない企業があった。質問すること自体を控えるような指導があり、それ以降質問をしづらくなった。
- ある企業では研修生にこれまでの研修の経緯を全部説明させられたが、何年も研修生を 受け入れている企業にもかかわらず説明を求められたことが疑問である。
- ・企業によっては、現場では「是非入社を検討してください」と言われたが、事務所の方 には邪険に扱われた。
- ・現場の方に「何か手伝いますか」と言っても、「お前らにはできないから見ていろ」と言われ邪険にされることがあった。研修に行っても雑用ばかりさせられて作業を見ることができない時間が続いた。
- ・特定の業界の企業研修はどこも研修生への対応がよろしくなかった。大切でやりがいの ある仕事なのにもったいないと感じた。

### (3)応募先を決めた理由

- ・企業研修の時の企業側の対応や従業員の雰囲気が良かった。
- ・社長の人柄が素晴らしく良く、一緒に現場で働けるので入社した後のミスマッチもなく ずっと働いていけると感じた。そして、社長のリーダーシップが現場にも浸透しており、 社員の方と一緒に働くことで自分の成長につながると思った。

#### (4)研修全体を通じて

- ・建設業はキツイ、汚い、休みが少ないというイメージを持っていたが、研修を受けたことによりそういった事が改善されていると感じた。
- ・建設業=大工だと思っていたが、配管や電気工事等、様々な職種があることを知った。
- ・建設業は怒鳴ったり、怖い方が多いイメージがあったが、企業研修に行った時にはその ような方はいなかったのでイメージが変わった。
- ・研修前は建設業の様々な業種に興味があったが、研修を受けていくうちに一人前の職人 にはなれないと感じた。一人前になれたとしても働けない年齢になっていると思う。

#### (5) 苫小牧市若者人材育成事業への評価

- ・資格取得や建設業関係の勉強ができ、企業も自分の目で1度見てから就職先を決められるというのは良いシステムだと思った。
- 年代の違う研修生と研修出来たことが自分自身の成長に繋がったと感じている。
- ・事業に実際に参加してみて一般の方にも事業の事を知ってもらいたいと感じた。
- ・給料を受け取りながら知識や経験を得られるという点は素晴らしく良いと思う。

#### (6)その他

- ・自分が進むべき業種を選択する上で、仕事の内容だけでなく施設内研修の講師の指導や 人柄も影響してくると思う。
- ・季節雇用の業種は苫小牧市若者人材育成事業を卒業してから就職しても1ヵ月で雇用が 一時的にきれるケースがあるので、その企業が良いなと思っても応募を躊躇ってしまう。
- ・企業の受け入れ先が1社しかない業種もあるので、あと数箇所あったらいいと思う。

# 7. 協会(受託先)の今次事業に対する所感

#### ①事業規模(予算)について

・今年度は研修生7名の事業規模となったが、潜在的な研修希望者も数多く存在するのではないかとの意見もあることから、来年度以降は研修生の枠を拡大することも必要ではないか。

# ②実施期間(募集、施設内研修、企業研修)について

- ・今年度は当初(4月下旬~)の募集で人数が少なく、6月中旬に追加募集を行った結果 研修開始時期が1ヵ月遅れたため、研修期間を短縮せざるを得なかった。
- ・今後も1回の募集で採用枠が埋まらないことが考えられるので、予め追加募集があることを想定して事業の日程を組んでおく方が良い。
- ・研修生募集の告知方法や事業 P R の仕方について、ホームページを積極的に活用することを考えたい。

#### ③研修内容(施設内研修、企業研修)について

- ・施設内研修の塗装実習のほとんどが足場の組立て及び解体に時間が割かれてしまったので、来年度以降は塗装作業に充分時間を使えるようにカリキュラムを考えていきたい。
- ・企業実習について、研修生から「実際に就職を希望する職種の企業での実習期間を増や して欲しい。」との意見があったことから、来年度以降は施設内での研修段階で研修生の 各業種に対する興味や適性を把握し、受入企業との調整を図りたい。
- ・企業側からは「40代の方の採用は考えておらず、研修受け入れは難しい」という意見があり、企業実習の前にワークスポットと連携し、実際に求人をしている企業と研修生とのきめ細かいマッチングを図りたい。
- ・建設業の人材不足と求職者の建設業に対するイメージアップという事業の目的について 企業側と訓練センター間でしっかり目的を共有できるよう、事業推進に取り組んでいき たい。

報告 事業推進員 中村